

1月27日ワークショップの結果 まとめ

平成25年1月27日、海岸地区コミュニティセンターにて、東海岸北三丁目、四丁目の住民のみなさまによる防災まちづくりワークショップが実施されました。

◆ワークショップ参加者◆

(住民) 海岸地区東海岸北三丁目・北四丁目自治会の皆様、第一中学校生徒会

(有識者) 東京大学 生産技術研究所 加藤孝明准教授、小田切利栄特任研究員

(市内ワークショップ経験者) 松浪地区浜竹一丁目自治会 植松伸廣会長

(茅ヶ崎市役所職員)

【当日の様子】



【開会のご挨拶】
海岸地区自治会連合会
藤田会長



【「防災まちづくりワークショップ」
結果の紹介】
松浪地区 浜竹一丁目自治会
植松会長



【市街地状況と
地域危険度の説明】
東海岸北三丁目自治会
永井さん、松村さん



【まちあるきの説明】
東海岸北四丁目自治会
浅場さん

■ 1月27日のワークショップで行われたこと ■

・開催趣旨等の説明	茅ヶ崎市 都市政策課
・「防災まちづくりワークショップ」の結果の紹介	松浪地区浜竹一丁目自治会 植松会長
・講演「地域住民と行政の協働による 防災まちづくり10のポイント」	東京大学 加藤准教授
・市街地状況と地域危険度の説明	東海岸北三丁目自治会 永井史子さん 松村知佐子さん
・まちあるきの説明	東海岸北四丁目自治会 浅場眞一さん
・グループで自己紹介、まちあるきルートの確認	(各班における話し合い)
・まちあるき	(各班でのまちあるき)
・まちあるき結果の共有化、地域の資源と課題	(各班における話し合い)
・結果の共有化 各班から発表	(各班から発表)
・まとめ	東京大学 加藤准教授

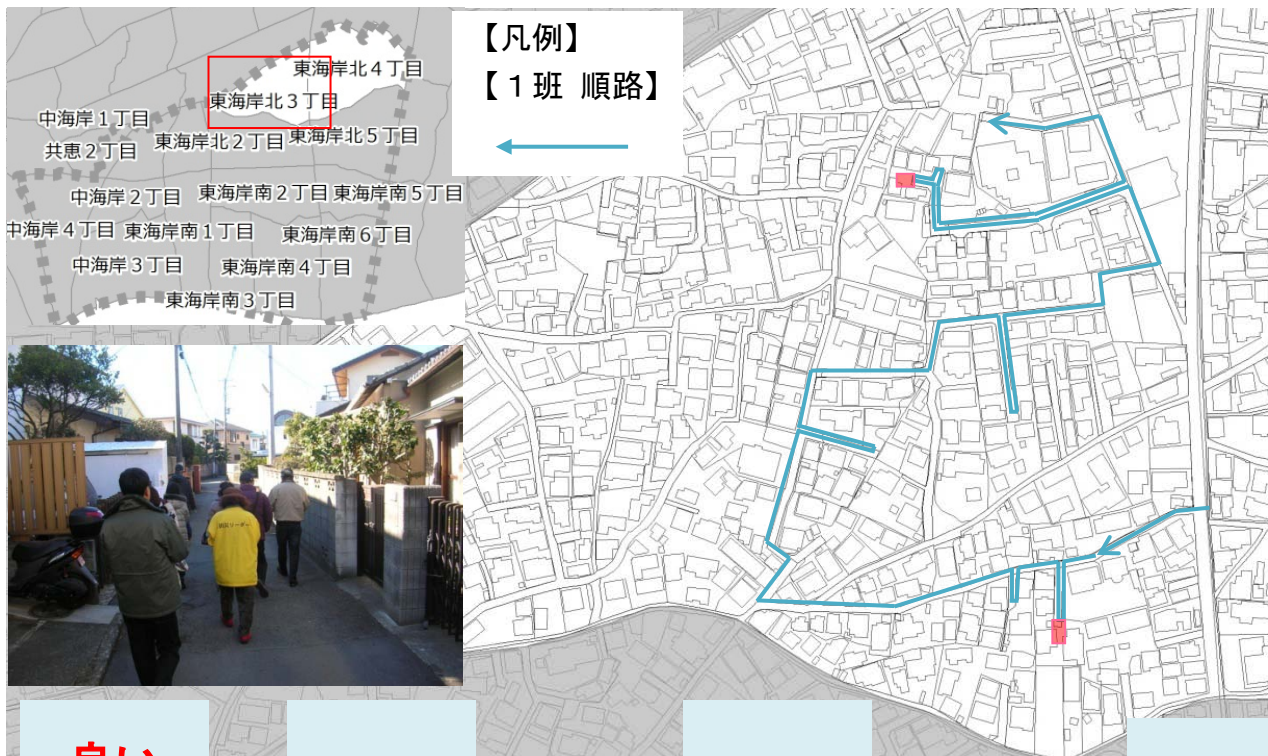


【まちあるき】
4班(東海岸北四丁目)



【話し合い】
2班(東海岸北三丁目)

まちあるきの結果（1班）



良いところ

課題

道路

要望・希望

自治会が、活発になりはじめている

強み
病院が近くにある

今回のまちあるき地区での一時避難場所（バーミヤン・ファミマ駐車場）

バーミヤンの駐車場が広く、緊急時には利用させてもらった

1ヶ所のマンション、自治会と話し合い避難通路作ってもらった

家の界に高いブロック塀が多い

行き止まりの道、地主さんとの事前交渉、いざと言う時通れるように

空地が欲しい

道路が狭い

マンション建設時に必ず何か所か別の通りに出れる出口がほしい

新しい病院に避難高台がほしい。裏道から入れるよう入口がほしい

他にも緊急時通り抜け可能な場所は地主と交渉の余地あり？

神田さんの倉庫横にはしごをたてかければ通り抜け可能

防災倉庫を現倉庫の隣に追加したい！

防犯パトロール中学生参加

ママチャリ消防部隊（三輪車活用）

消火栓 消火器

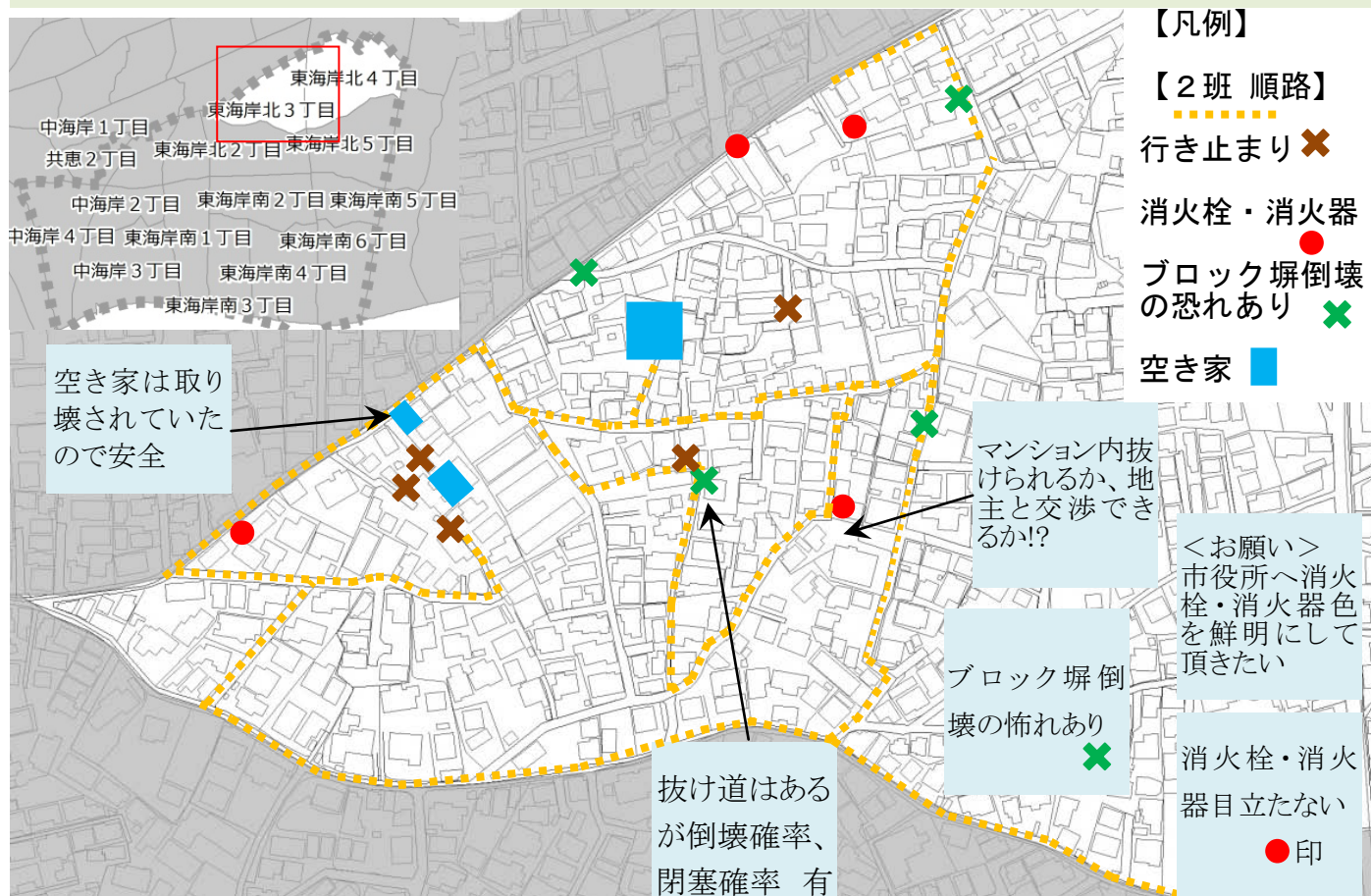
消火栓の訓練を自治会で行っておきたい

消火栓の黄色ワクがはげてるもの多い

消火栓の設置場所、道路せまい所が多く消防車が入れない。自主消火が住民で実施できる方法を考えたい

消火器ケース少なく、色が褪せている

まちあるきの結果（2班）



自転車のプレートが地域の人同士の交流につながっている

自治会に勧誘から始める。

絆を深める

さらに活動につながらないか？

人の意識を共有化

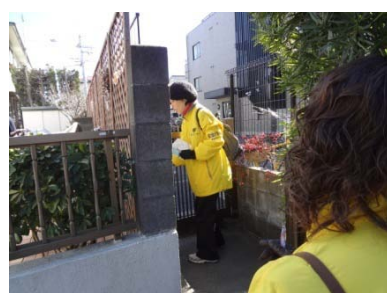
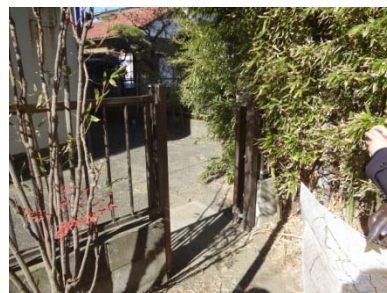
人の意識を共有化

サーフボード付自転車が危ない

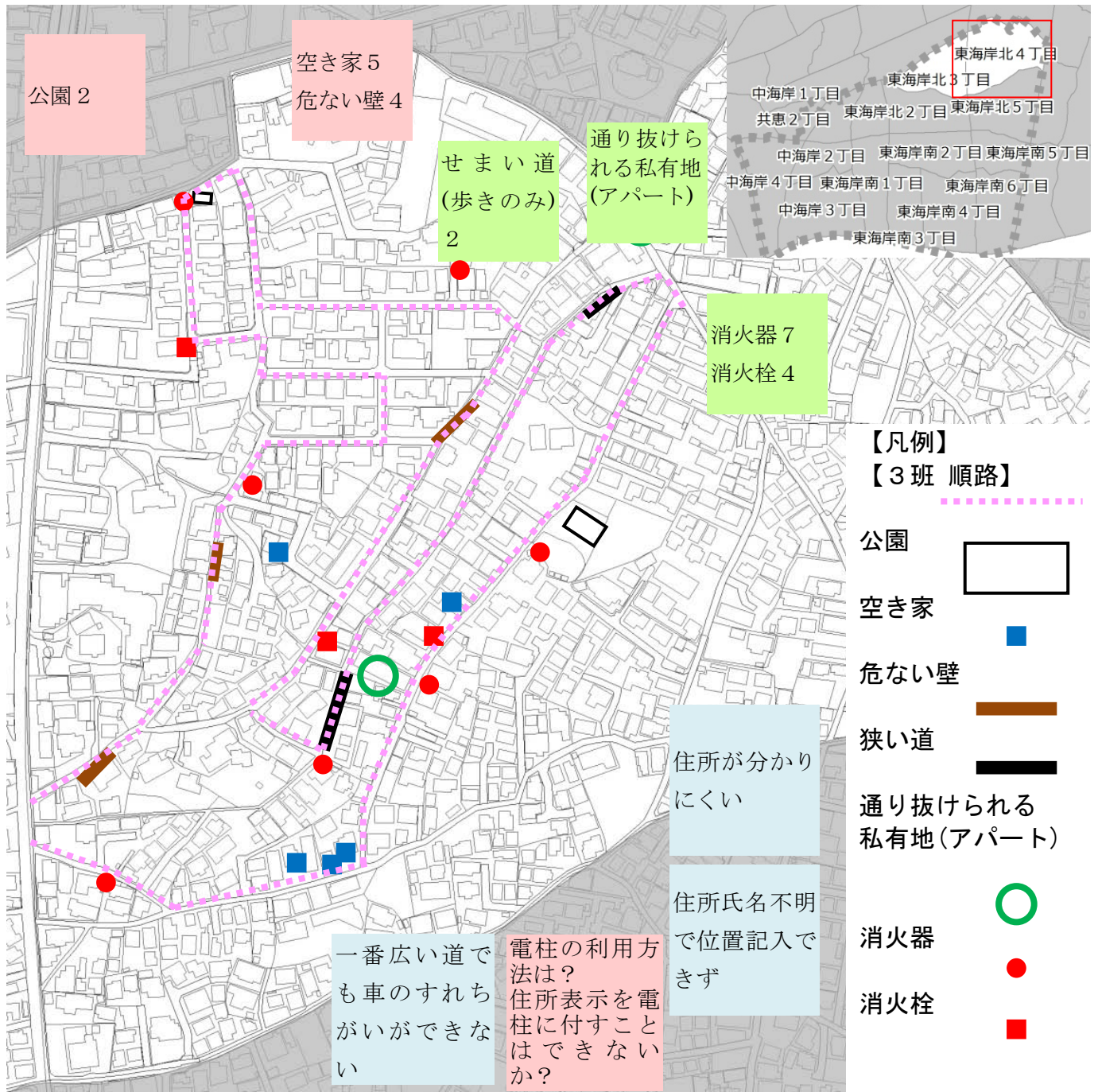
行き止まり

行き止まり道路

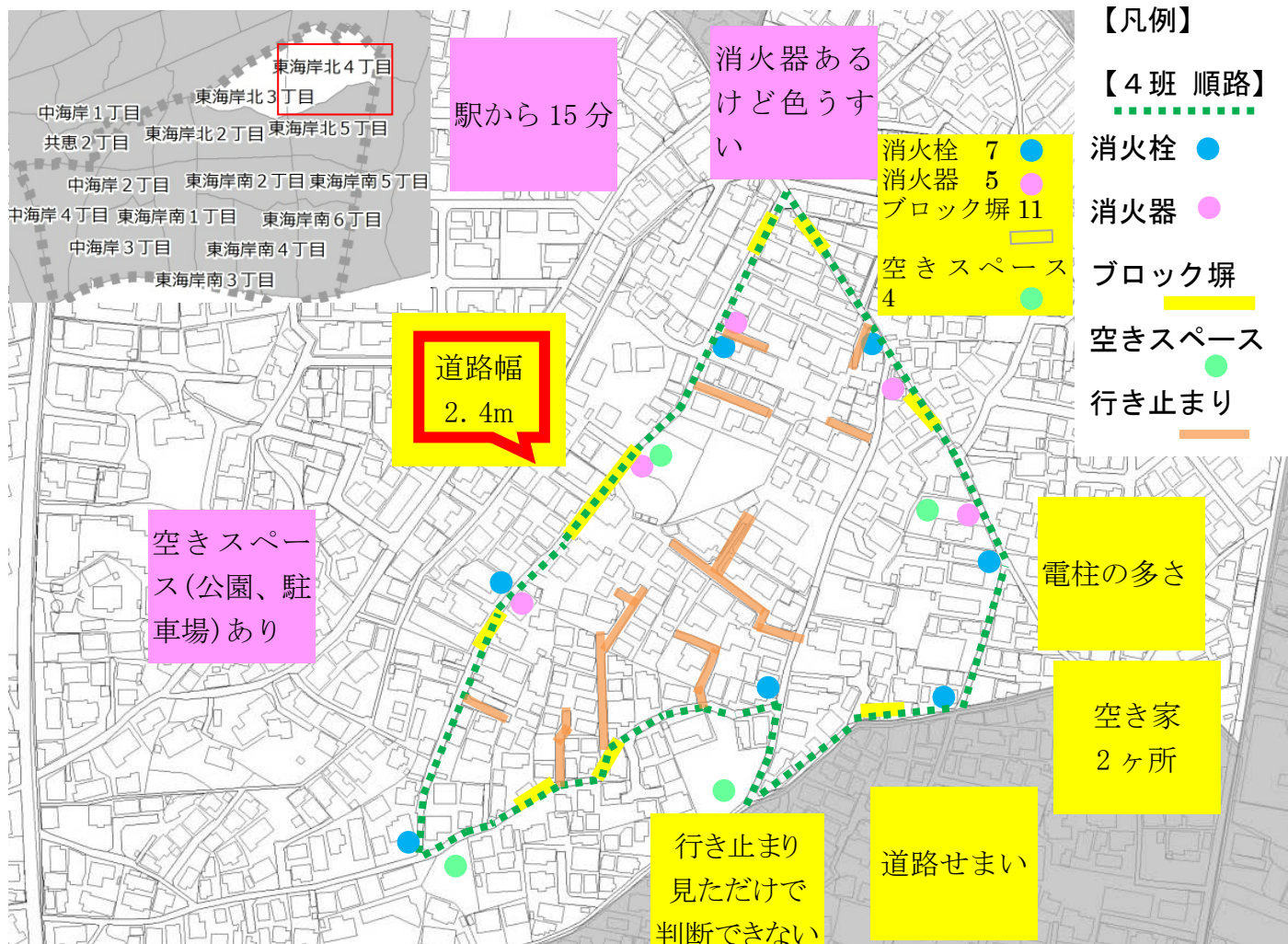
空き家



まちあるきの結果（3班）



まちあるきの結果（４班）



消火器
消火栓

ブロック塀、
行き止まり

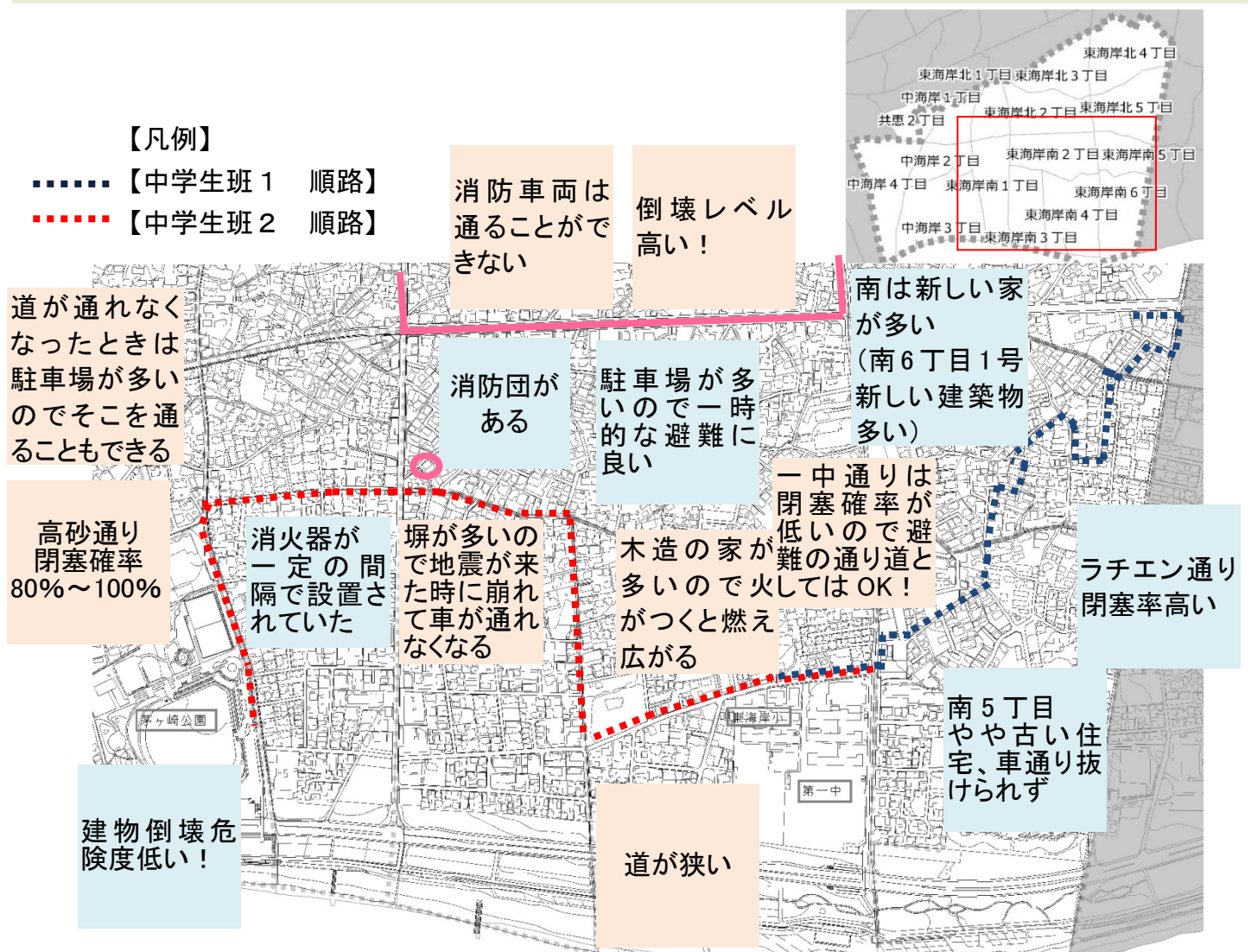
避難場所

消火器	消火器の数	危険な場所	古い塀	安全な道	夜間の街路灯	避難場所 (広場・公園)
消火に役立つもの	消火栓の数	倒壊の恐れある場所の道路状況	塀(ブロック塀)の場所	道路の中	一時避難場所としての公園・広場	津波・火災、避難できる場所
消火栓(器)	消火栓・消火器の場所	行き止まりの道の確認			津波の時の避難場所	高い建物



照明
(夜間避難)

まちあるきの結果（中学生）



【発表の要点（発表順）】

■ 2 班

＜課題の視点＞ 空き家、塀の危険なところ、行き止まり、消火器・消火栓を確認!!

＜特色＞ 公園・空地などがあまりない、とにかく道が狭い、

マンションなどに依頼して非常時は通り抜けられるようにしたい。

＜課題＞ 消火器・消火栓:色が落ちて目立たない→自分達で塗りたい

＜まとめ＞ 自治会への参加を呼びかける→防災「も」まちづくり

自転車ステッカー→貼ってあると町内の人だとわかる

→あいさつしやすくなる。つながりができてきている



2班(東海岸北三丁目)

■ 1 班

＜気づいたこと＞ つきあたりの道が多い。

→つきあたりの地主・大家さんに交渉して、緊急の時通れるようにしたい。

＜良いところ＞ 自治会が防災に力を入れ、活発になってきていること、
徳州会病院が建て替え中なので病院との連携を進めたい
(高台として地域住民の避難に使用したり、
一時避難場所にできるように)

＜課題＞ 道路が狭いこと、

避難する公園などがなくないこと

→コンビニ等の駐車場を一時避難所としては?

消火栓の黄色い枠の色がはげている、消火器が少ない

→消火器を増やしていきたい。

＜実績＞ マンションが建設される時に緊急時に通り抜けできるように自治会で交渉した。今後も続けたい。



1班(東海岸北三丁目)

■ 中学生班(東海岸南一、二、三丁目、及び東海岸南五、六丁目に分かれてまちあるきを行った)

＜気づいたこと＞

東海岸南五丁目:古い建物が多く、道が入り組んでいる。緊急車両等も通り抜けが難しい。

東海岸南六丁目:新しい家が多いが、密集している。一度燃えてしまうと火の回りが早い。

倒壊の危険性もある。

ラチェン通りは閉塞率 80~100%

→避難できる状況を普段から整えておく必要がある。

南一、三丁目:木造の家が多い。

→火が燃え広がる可能性が高い。塀も多い。

→車が通れなくなる可能性が高い。

→消火栓・消火器などの場所を知る。

消防団と協力する。駐車場を活用して避難する。

＜まとめ＞

一中学区は入り組んだ道が多く、緊急車両が入りにくい。→地図をよく学び、自分の身は自分で守る!!

古い建物や新しい建物が密集している→住民が消火器などで初期消火する意欲を持つ。

家族との待ち合わせ場所には、駐車場等の空地の多い茅ヶ崎公園などが適切である。



第一中学校 生徒会

■ 4 班

＜チェックポイント＞

消火器、消火栓、危ないブロック塀(七段積み以上)、

空きスペース、広場、駐車場

＜見つけた箇所＞

消火栓(7ヶ所)・消火器(5ヶ所)、ブロック塀(11ヶ所)

空地(4ヶ所)→災害時に活用したい

・海岸地区は昔、周辺の地主さんの畑だったので、

道路が狭いのが当たり前の地形になっている。

行き止まり場所の解消…地域だけでは対応が難しい…?



4班(東海岸北四丁目)

■ 3 班

＜特色＞ 行き止まり道路が多い。狭い道が多い

＜見つけた箇所＞ 空き家(5軒)、危ない壁(3ヶ所)、公園(1ヶ所)、

青少年広場(2ヶ所)消火器(七基)、消火栓(4ヶ所)

・住所・氏名がわかるようにしたい。

・細い道にも緊急車両が入れるようにしたい。

・今後は、中学生とも一緒にまちあるきや防災活動をしていきたい。



3班(東海岸北四丁目)

【まとめ：東京大学 加藤准教授のコメント概要】

（１）まちを考えるための３つの要素

今後のまちを考えていくときの３つ要素は、①“まちの形”、②“まちにあるもの”、③“人間”である。この３つを地域の特性に合わせて上手に組み合わせていくと、素晴らしいまちになる。

本日は“まちの形”と“まちにあるもの”に注目した発表であった。それに加えて、次回はまちの中での活動を上手に組み合わせて、議論が出来ると良い。さらに今日の話を聞いていて、その３つの要素がこの長い歴史の中で変化していると感じた（空き家が出てきている等）。

今、まちがどう変化していて、この先どういう可能性があるのかを頭に置きながら、この３つの要素を考えていくと良いと改めて感じた。



【まとめ】

東京大学 加藤准教授

（２）価値観や発想の転換による未来的な新しいまちのモデル

（海岸地区は）道が狭くて行き止まりが多くて、車が少なくて、静かで住みやすそうでとてもいいまちだなと実は感じている。これは 20 世紀的な価値観で言うと、消防車が入れないとか、道が狭いとかマイナス面ばかり見えてくる。しかし、少し価値観や発想を変えてみると、とてもいいまちにも見えてくる。だから少し新しい発想で価値観を変えて考えることで、もしかすると未来的な新しいまちのモデルがここでできるかなと感じた。

（３）中学生への期待

最後の方もおっしゃっていたけれども、ぜひ学校で色々まちあるきなどをしていただいて、中学生の新鮮な目でこの地域の人たちと結びつきながら、このまちことを考えていただけるといい。次回また、中学生頑張ってください。

【皆様のご感想(一部抜粋)】

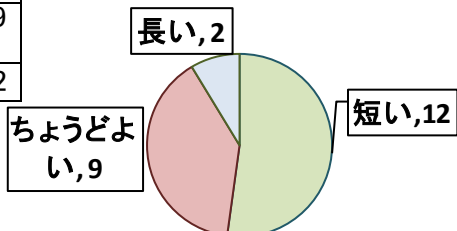
- 先生のお話はわかりやすかった。地域に返していきたい。
- 本日は多少まちのことを知り今後の防災に役立てたい。また、時間が少ないので自治会にて防災訓練の時に再度チェックしたい。
- 1.高齢者に避難場所を表示(道順)した地図の配布
- 2.夜間の避難に照明の下(ハッキリ見取れる位置)に蛍光発光の数字等をつける。
- 3.地図上に防災安全通路を表示し、特に高齢世帯に配布。
- 4.どうしたらより多くの人に防災に目を向けさせることができるか、まちづくりの前に人づくりをどうやるかが大切では……。イベント(例えば、餅つき大会)を実施するにも参加者が少ない。やる気のある人が増えればまちづくりは自然にうまくいくのでは。
- 自・公・共助の「自」の認識不足を痛感させられた半日でした。まず自分の身の回りの防災認識を新たにしたいと思います。
- 今後自己満足にならず、地域の一人一人にまでこのワークが広まっていくイメージがわいています。
- 自助・共助・公助の説明がとても良かった。
- 説明の時間が長く実際歩く時間が少なすぎる。道幅が狭い場所が多くブロックが倒れたら道がふさがってしまう所がたくさんあった。
- 茅ヶ崎がとても危険だと知り、とても驚きました。iPad のアプリの機能をもっと増やしていけばさらに使いやすくなると思います。
- まちあるきの時間が少なかったため、あまり調査することができなかったため、また機会があればもっと調査してみたいと思いました。
- 今回のワークショップでは、まちを別の方向から見ることができ、とてもいい体験になりました。
- とても楽しかったです。iPad も使いやすくて見方もわかりやすくてこれを見るだけでもおもしろかったです。改めて茅ヶ崎の一部ですがよく見ることができて良かったです。でももう少しまちを見れたら良いと思いました。
- まちあるきの時間が短かった。中学生が参加してくれて、しっかりとした意見が聞けてとても良かった。
- 中学生の発表された内容も我々大人も反省する必要あり。

ワークショップのご感想アンケート結果

ワークショップの際に、ご記入いただきましたアンケートの結果は、以下の通りです。
貴重なご意見をありがとうございました。(ご回答:23人)

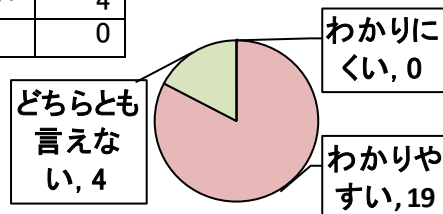
【質問1】ワークショップの時間は？

選択肢	回答者数
短い	12
ちょうどよい	9
長い	2



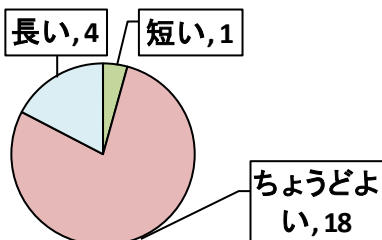
【質問2】配布された資料は？

選択肢	回答者数
わかりやすい	19
どちらとも言えない	4
わかりにくい	0



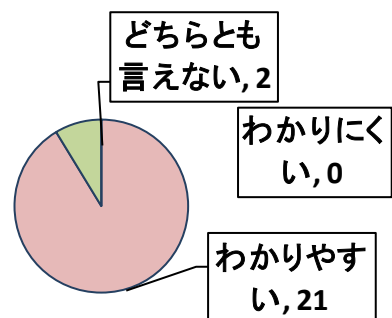
【質問3】説明の長さは？

選択肢	回答者数
短い	1
ちょうどよい	18
長い	4



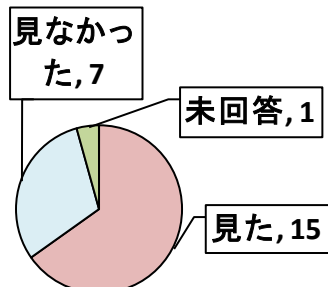
【質問4】説明のわかりやすさは？

選択肢	回答者数
わかりやすい	21
どちらとも言えない	2
わかりにくい	0



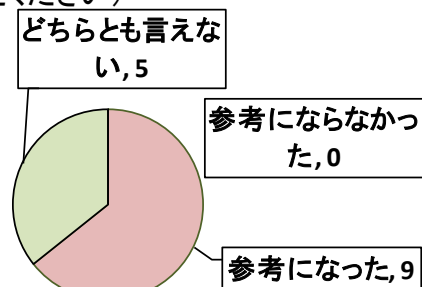
【質問5】事前配布された DVD はご覧になりましたか？

選択肢	回答者数
見た	15
見なかった	7
未回答	1



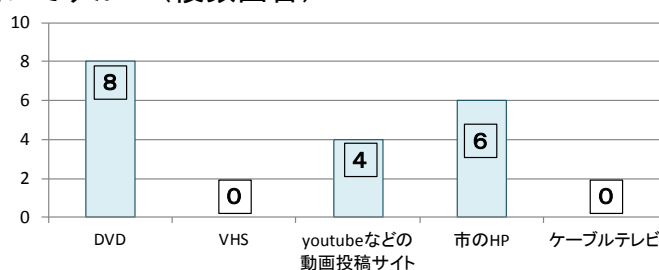
【質問6】事前配布された DVD は？(ご覧になった方はお答えください)

選択肢	回答者数
参考になった	9
どちらとも言えない	5
参考にならなかった	0



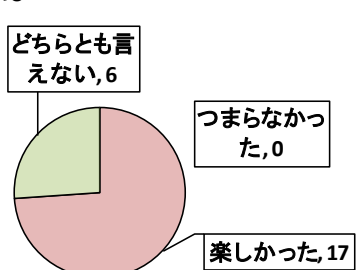
【質問7】今後この DVD をどんな方法で見たいですか？(複数回答)

選択肢	回答者数
DVD	8
VHS	0
youtube などの動画投稿サイト	4
市の HP	6
ケーブルテレビ	0



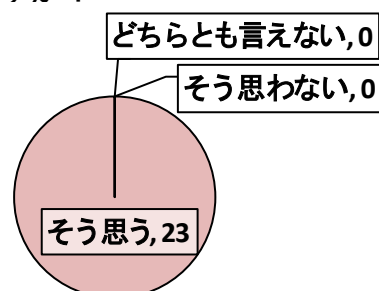
【質問8】本日のご感想は？

選択肢	回答者数
楽しかった	17
どちらとも言えない	6
つまらなかった	0



【質問9】今後も防災まちづくりについて地域で話していきたいですか？

選択肢	回答者数
そう思う	23
どちらとも言えない	0
そう思わない	0



次回(2月24日(日))に向けて…

次回の2月24日(日)は、今回のまちあるきや地図上での話し合いの内容をもとに、今後の地域での取組について話し合っていきます。



(1月27日の話し合いの結果)



* 1月27日の話し合いで、使用した地図への各班の記載内容の詳細は、当冊子2～6ページをご参照ください。

(次回の資料)

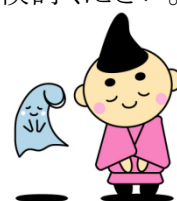
今回はこちらの模造紙を使用します。お時間のある際に【記入の視点】をもとに、どうぞご検討ください。

グループ	メンバー名
まちあるきでの着眼点	まちあるきで気づいたこと よいところ(資源) ・ わるいところ(課題)
	資源をどのように活かすか？ 課題をどう解決していくか？

まちあるきの際に着目した視点

まちあるきで見つけた資源をどんなふうに活用するか？また、課題をどんなふうに解決していくことが出来るか？

まちあるきの際にみつけたことや、普段見かける地域にあるものが、防災上の資源になるか？課題になるか？



グループ	メンバー名
<こんなまちにしたい！！>	これからどのようなまちにしていきたいか？、“この取り組みをするとどんなまちになっていくか？”など、みなさんのまちの未来にむけた希望！
<地域で取り組みたいこと> なにを	だれが？ どのように どうやって？
	いつまでに すぐ (~1年) 少し時間 (~2~3年) 長く時間 (~3年~)

まちあるきで見つけた資源と課題や、今取り組んでいること等をもとに、どんなことをやるか？

誰が主体となって 行うのか？
誰に協力してもらおうと良いのか？

いつ頃なら 出来るか？
どうやれば 続けられるか？

その取組を成功させるためには、
どんなことが必要か？

次回は2月24日(日)9：30～ 海岸地区コミュニティセンターにて